

## ISO/TC61/SC2 (機械的性質) 分野の最近の動向

ISO/TC61/SC2は、プラスチックの機械的性質の試験方法に関する規格の制定・改正を担当している。2020年10月段階で46の規格が発行され、7の規格開発プロジェクトが進行中である。SC2傘下で活動中の作業部会（WG）を第1表に示す。なお、WG4は開発案件がないため現在休止中である。

第1表 TC61/SC2のWG

WG	コンビナー	タイトル
1	ドイツ	静的力学特性
2	マレーシア	硬度及び表面特性
3	アメリカ	衝撃特性
5	イギリス	温度依存特性
6	ドイツ	試験片の寸法
7	韓国	疲労及び破壊靱性
8	アメリカ	データの標記方法

\*幹事国/議長国：韓国/韓国（2020年10月）

2020年の第69回 ISO/TC61年次国際会議は、10月にスウェーデン（ストックホルム）で開催予定であったが、新型コロナウイルスの影響で対面会議が開催できず、2020年9月～10月の期間にWeb開催となった。TC61/SC2関係では、WG6を除く各WG会議、およびSC2全体会議が開催された。SC2全体会議には、22か国のPメンバー中、10か国から合計36名が参加し、各WG報告及び討議の後、計23の事項が議決され、TC61全体会議に報告された。本稿では、年次国際会議での議論内容を中心にTC61/SC2の2020年10月時点での動向につき、WG別に概要を報告する。

### 1. 静的力学特性（WG 1）

日本提案のISO/AWI 22183は、PLが宮崎氏から栗山氏に交代した。NP投票時のコメントが討議され、CD投票に進むこととなった。ISO 18872は、定期見直しの結果、確認された。コンビナーのDr. Gerhard Maurer は今年末に引退し、次期コンビナーはMr. Helmut Fahrenholz となる。

### 2. 硬度及び表面特性（WG 2）

日本提案のISO/FDIS 20329は投票の結果承認された。コメントは全てEdコメントと認定され、修正後に規格発行された。ISO 2039-1, -2は、定期見直しの結果、確認された。

### 3. 衝撃特性（WG 3）

ISO 180とISO 179-2の改正規格は、FDIS投票で承認され、規格発行された。5件の定期見直しの結果、ISO 179-2、ISO 974、ISO 6603-1は確認され、ISO 13802は正誤表作成、ISO 6603-2はFDIS段階からの改正を実施する。

### 4. 温度依存特性（WG 5）

ISO 306は、昨年の定期見直し時のコメントの再検討を実施する。ISO 75-3は、精度データ取得と代替加熱装置の適用のためのRRTを実施し、その後に追補または改正を実施する。ISO 75-2のPPへの適用検討は進展がなかった。コンビナーのDr. Graham Sims は今年末に引退し、次期コンビナーはMr. Andrea Calzolari となる。

### 5. 試験片の寸法（WG6）

WG6は、Web会議に替えて7月にメールでの審議を実施した。定期見直しの結果、ISO 3167とISO

16012は確認された。コンビナーのDr. Gerhard Maurer は、今年末に引退し次期コンビナーはMs. Dongmei Zhe となる。

#### **6. 疲労及び破壊靱性 (WG7)**

ISO/DTS 28660は、最終TS案が作成された。指摘事項の修正後に再度査読し、TS発行のためCSに送付される。ISO/DTS 20979 は、タスクグループで文書を査読し、どのISO文書に進めるかを決定する。ISO/CD 23524は、投票で承認されたが、大きな変更事項が発生するため、CD2投票(またはWG Consultation)を実施する。取り下げ中のISO/DIS 18485は、RRTを実施して再度DIS段階からPJ再開する方向で進める。ISO 25217は、定期見直しの結果、確認された。

#### **7. データの標記方法 (WG8)**

ISO 10350-2は発行済だが、技術コメントに対応するため、来年改正を検討する。ISO/DIS 11403-1, -3は、コメント対応後にFDIS投票に進む。ISO/CD 11403-2とISO 17282改正は進展がなく、WD整備後にDIS投票に進む。コンビナーのDr. Ranganath Shastri からコンビナー退任の申し出があり、次期コンビナーをSC2にて選定する。